



今日が楽しく
明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

全力で前進できた運動会！

台風接近のため1日順延となりましたが、9月10日(日)好天のもと、運動会が開催されました。子供たちは、これまで熱中症対策と感染症対策の両方を気かけながら練習に取り組んできました。児童会のスローガン「前進!全力でつき進め」の達成に向けて、競技や応援、そして係の活動に精一杯取り組むことができました。以下に運動会の名場面をいくつか紹介します。

ご家族の皆様には、日差しが強い中、懸命に応援いただいたり、積極的にチャンスレースに参加いただいたりのご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。



チェッコリ玉入れ

「開会式」

「はじめの言葉」は1年生の角掛叶直

(つのかけかなた)さん、佐々木月乃(ささきりのん)さん、伊藤帆菜(いとう

はんな)さん、武村勇吹(たけむらいぶき)さんの4名で子供たちのやる気を高める挨拶を校庭いっばいに響き渡らせることができました。



開会式「はじめの言葉」

「恒例!チェッコリ玉入れ」

1、2、3年生による毎年恒例の団体競技です。かわいらしいダンスを織り交ぜ、空に舞う紅白の玉は、運動会ならではの素敵な光景でした。応援していた4、5、6年の子供たちも一緒にダンスを踊り、競技を大いに盛り上げました。

赤組 勝利

「どれ引くの?これ引くの!」 4、5、6年生による新しい団体競技でした。綱が5本あるので、引っ張る力だけでなく、周りの状況を見ながらの判断力も試される団体競技でした。保護者の皆様からも見ごたえがあったという感想が多く寄せられました。

2回戦を行いました。開始の合図とともに素早く綱にたどり着いた子供は難なく自陣に綱を運んでいたため、走る力も勝敗を分けるポイントとなりました。

白組 勝利



応援合戦

応援合戦は、今年度もそれぞれの組がオリジナルの応援を創作し練習に取り組みました。感染症対策のため、声を出さないようにした期間もあり、十分に練習ができなかった面もありますが、当日は暑さの中、全校児童が精一杯の声を張り上げて応援合戦を繰り広げました。9人の審判による審査の結果は5対4で軍配は白組に上がりましたが、どちらもすばらしい応援の姿を披露できました。

赤組応援団長 久保田 虎太郎(くぼたこたろう)さん

白組応援団長 角掛 智紀(つのかけともき)さん



応援合戦(白組)



応援合戦(赤組)

全校表現「ツバメ」

全校表現は
昨年度に引き

続き、音楽ユニットYOASOBIの楽曲「ツバメ」に合わせた踊りでした。今年度は、昨年度からバージョンアップさせ、隊形移動を加えたり、縦割り班ごとにそれぞれのグループで工夫した踊りをしたりとダイナミックで子供たちの主体性を大切に
した表現を保護者の方々に披露することができました。



リレーの結果

低学年リレー・・・ 1位 黄 2位 白 3位 青 4位 赤
高学年リレー・・・ 1位 白 2位 黄 3位 赤 4位 青



閉会式

保護者から寄せられた感想より

優勝 白組 213点
準優勝 赤組 199点

- 全校のツバメは小学生とは思えないくらいきれいにまとまっていて、感動しました。
- チャンスレースは保護者も参加できる形で見ていて楽しかったです。コロナ前の運動会に戻ってきたような感じがしました。
- 団体リレーは差が開いても決して手を抜いたりあきらめたりすることなく走り切る子供たちの姿に成長を感じ、感動しました。
- 毎年、きちんと考えられた応援合戦、素晴らしいなと思っています。
- 高学年リレーは6年生を中心に走順を決めたと聞きました。先生方が全てを考えるのではなく、子供たちで考え、決める力や仲間意識が高まったのではないかと思います。

ヘルメット贈呈式・工事作業車高所体験



9月25日(月)、東北自動車道一本木橋の塗替塗装工事をしているリバーランズエンジニアリング株式会社の方々が来校し、子供たちがいただくヘルメットの贈呈式を行いました。

また、贈呈式後は、工事作業車に乗って、12Mの高さの所まで登り、高所で作業を行う状況を実際に体験しました。一度に10名前後の子供たちが乗って上まで上がります。少し怖がっていた子供もおりましたが、全体的に心躍る雰囲気が不安な気持ちをかき消してくれたようで、みんな笑顔で体験することができました。



目撃情報が多発する熊への対策について

- マチコミメールで何度もお知らせしておりますように、一本木地区での熊の目撃情報が多くあることから、学校では可能な限り複数での登下校を指導したり、職員による下校の引率を行ったりしているところです。
各家庭におきましても、熊への対策として通学路において不安な箇所があるという場合は、ランドセルに熊よけの鈴を装着させるなどの対応をとっていただければと存じます。